

# いしばし 清 孝 石橋まよたか県議会レポート

発行 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

**森田知事**

## 追加財政支援を約束!

### 12月県議会一般質問に登壇

また、「健康寿命日本二」をスローガンに掲げる石橋県議は、県による健康寿命を延ばすための具体的な施策展開をただしました。その他、高齢者の免許返納や防災対策、県立農業大学の改修など石橋県議の主な質疑を特集しました。

選出の自民党、石橋清孝(いしばし・まよたか)県議は、12月定例県議会の一般質問に登壇し、地域医療の中核的役割を担う東千葉メディカルセンター(MC)の厳しい経営環境を訴え、県による追加財政支援を求めました。答弁に立った森田知事は「医療資源の乏しい地域において、引き続き中核的な医療機能が維持されるよう、必要な追加財政支援を行いたい」と約束しました。



東千葉MCへの財政支援を求める石橋県議

## 東千葉メディカルセンター 抜本的な経営改善の要望で

導入、地域医療支援病院の承認等により、医療収益の増加に努めているものと認識しています。

さらに、材料費等の購入価格や複数年契約に係る委託業務の見直しなどに対応するため、業務の体制を強化し、費用の削減に取り組んでいますが、依然として厳しい経営状況が続いています。

こうした中、県では設立団体の求めに応じて職員を派遣するほか、同センターの経営健全化会議に参画し、定期的な経営改善状況の確認や助言を行うなど、包括的な支援を行っているところです。

### 経営改善

石橋議員 県立病院の経営健全化のためにスタートした東千葉メディカルセンターです。同センターの第3期中期計画の策定にあたり、県も参画した病院運営検討会議での検討結果によると、今後10年間で約30億円の赤字が見込まれています。

森田知事 東千葉メディカルセンターは、第3期中期計画に基づき、麻酔科医師の確保による手術件数の増加や、診療報酬における包括支払制度であるDPCの

一方、同センターは、医師・看護師の不足により、病床のフルオープンが遅れ、赤字経営を余儀なくされており、抜本的な経営改善が必要であると認識しています。県としては、医療資源の乏しい山武長生夷隅医療圏において、引き続き中核的な医療機能が維持されるよう、必要な追加財政支援を

### 医療費削減にも効果

石橋議員 私の事務所には、幅2メートル、縦10メートルの大きな看板を掲げています。スローガンは、病気がかからないことが最も良いと考え「健康寿命日本二」としました。

健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことですが、厚労省が2018年に発表した日本人の健康寿命は、男性72.14歳、女性74.79歳であり、平均寿命は男性80.98歳、女性87.14歳となっています。

### 財政支援

石橋議員 東千葉メディカルセンターへの追加財政支援に対する県の基本的な考え方はどうか。

森田知事 東千葉メディカルセンターは、県立東金病院の機能を引き継ぐ病院であるとともに、救命救急センターとして指定されるなど、地域の中核的な役割を担う病院です。

## 目指せ!健康寿命日本二

1年あります。この1年は、活動的に動ける期間です。で、社会全体に与える影響は大きく、医療費の面でも削減になると思います。そこで伺いますが、県は、健康寿命の延伸に向けて、どのような施策を進めていますか。

また、地域活動への参画や地域とのつながりが、健康づくりの視点からも重要であることから、食生活改善推進員や母子保健推進員などの人材育成にも取り組んでいます。

行いたいと考えています。東千葉メディカルセンターは、3次救急の役割を担うなど、山武長生夷隅医療圏の中核的な医療機関であり、独自に経営改善に取り組んでいますが、運転資金が不足していることから、安定的な運営ができるよう、十分な支援を要望します。

保健医療担当部長 本県では、県の健康増進計画である「健康ちば21」において、「健康寿命の延伸」と「健康格差の実態解明と縮小」を目標に掲げ、県民の健康づくりを推進することとしています。具体的には、  
○食事、運動、休養など健康づくりに関する知識の普及  
○高齢になっても運動機能を維持するためのロコモティブシンドローム予防の啓発と運動指導者育成  
○糖尿病性腎症等の生活習慣病の発症重症化の予防などの施策を進めています。



# 高齢運転者の免許返納で提言

## 高齢者の加害率21%

**石橋議員** 平成29年4月に高齢運転者対策が強化された、改正道路交通法が施行され、免許更新時だけでなく、一定の交通違反をした場合には、臨時認知機能検査等を受ける制度が始まっております。運転免許証を自主返納する高齢者は年々増えているそうです。そこで、今年の交通事故の発生状況はどうか。そのうち、高齢者が加害者になる事故の発生状況はどうか、伺います。

## 先進安全技術を搭載

**石橋議員** セーフティ・サポーターをどのように周知しているのか。

**警察本部長** セーフティ・サポーターは、自動ブレーキやペダルの踏み間違い時に加速抑制装置等の先進安全技術を搭載した自動車では、交通事故の防止や事故時の被害軽減に効果があるものとして、政府や県において高齢者等の利用が推奨されているところですが、

**警察本部長** 本年10月末現在の県内の交通事故の発生状況は、発生件数が14148件、死者数が147人、負傷者数が17214人となっております。前年同期と比較して発生件



県議会本会議場の壇上に立つ石橋県議

が四輪自動車を運転して第一当事者、いわゆる加害者となった事故は3054件で、事故全体の21.6%を占めており、こうした高齢者が加害者となる事故の比率は、年々増加傾向にあります。

また、高齢者を対象として実施する交通安全教室等では、自動車メーカーの協力等をいただき、実際にセーフティ・サポーターの体験乗車をしていただく取り組みを行っており、合わせて先進安全技術の機能を周知し、これらの機能を過信しないことによる安全な利用などについても分かりやすく説明しているところです。

また、高齢者を対象として実施する交通安全教室等では、自動車メーカーの協力等をいただき、実際にセーフティ・サポーターの体験乗車をしていただく取り組みを行っており、合わせて先進安全技術の機能を周知し、これらの機能を過信しないことによる安全な利用などについても分かりやすく説明しているところです。

## 運転免許の自主返納を推進

望 返納を推進していることについて、必要性があることは理解していますが、それと並行して運転を継続する意思のある方の安全対策として、セーフティ・サポーターの推奨を二層進めていただきたい。高齢者の大多数は、加齢による身体機能の衰えや認

知症という障害を持った人になるので、これらの人々の運転免許証を返納させて運転できなくさせること

## 災害時の充電対策

**石橋議員** 大規模停電時におけるスマートフォン等の情報通信機器の充電対策は重要と考えるがどうか。

**防災危機管理部長** 北海道胆振東部地震で発生した停電の際には、通信事業者各社が避難所等で充電サービスを実施したものの、大変混雑し、多くの方が不便な思いをしたと聞いています。スマートフォンなどの情報は、ある意味、障害のある人もない人も暮らす千葉県として、倫理から外れていくように感じます。

また、高齢者を対象として実施する交通安全教室等では、自動車メーカーの協力等をいただき、実際にセーフティ・サポーターの体験乗車をしていただく取り組みを行っており、合わせて先進安全技術の機能を周知し、これらの機能を過信しないことによる安全な利用などについても分かりやすく説明しているところです。

## 防災用井戸の設置

**石橋議員** 災害時における防災用井戸の設置について、県の対応はどうか。

**防災危機管理部長** 県域防災計画では、市町村は本格的な応急給水が行われるまでの水を確保するため、避難所等に防災用井戸や貯水槽などを整備することとしています。

## 農業大学の整備

**石橋議員** 県立農業大は、昭和54年に東金市に建設され、私の家も近い

は、ある意味、障害のある人もない人も暮らす千葉県として、倫理から外れていくように感じます。

通信機器は、近年、急速に利用が進んでいることから、バッテリーの容量不足に対する備えは新たな課題と認識しています。今後、県としては、災害に備え、予備バッテリーの確保や、省電力機能の活用を周知するとともに、県と通信事業者などで構成する「千葉県ライフライン対策連絡協議会」において、災害時の充電対策について検討してまいります。

そこで県では、地域防災力向上総合支援補助金により、防災用井戸を設置する市町村を支援しています。災害時には、飲料水や生活用水の確保が重要なことから、県としては引き続き市町村に対し、避難所等における防災用井戸の設置を促してまいります。

市町村を支援しています。災害時には、飲料水や生活用水の確保が重要なことから、県としては引き続き市町村に対し、避難所等における防災用井戸の設置を促してまいります。

ことから、学生と接する機会も多く、素晴らしい青年たちだと感じており、学生

の成長を楽しみにしているところです。

農大は、平成24年4月に専修学校「千葉県立農業大」として新たに開校し、短大と同等の資格が取得できるようになり、名称変更と合わせて、校舎の大規模な改修や設備の更新が進められています。そこで伺いますが、県立農業大学の整備状況はどうか。

**農林水産部長** 農業大

また、昨年11月に策定した県有建物長寿命化計画では、5年以内に大規模改修への着手を目指す施設として位置づけられており、どのように整備を行っていくのか、現在、具体的な検討を行っています。

また、昨年11月に策定した県有建物長寿命化計画では、5年以内に大規模改修への着手を目指す施設として位置づけられており、どのように整備を行っていくのか、現在、具体的な検討を行っています。

具体的には、基本的な農業の知識・技術に加え、

具体的なには、基本的な農業の知識・技術に加え、

模範会社での実験を通

5年以内に大規模改修の着手を指す施設として位置づけられていることなので、若者に受け入れられ、人材が集まるような施設整備を期待しています。

した経営管理 ICTを活用したスマート農業

食品加工や観光農業などの6次産業化

生産工程を適切に管理するGAP

などの充実した教育を進めているところです。

## 優れた担い手育成

本県農業の次代を担う人材を育成するための研修教育機関として、今後も教育環境の充実を図ってまいります。

●県政と東金市に関するご相談・ご要望をお聞かせください。

**石橋きよたか** 県事務所

〒283-0005 東金市田間1-12-12  
TEL.0475(52)1588 FAX.0475(52)1598

# 安全運転サポートカーを推奨